

愛知県自動車盗難等防止協議会総会を開催

愛知県自動車盗難等防止協議会(会長：小林 剛・NTP 名古屋トヨペット株式会社代表取締役社長)では、2月26日(水)にアイリス愛知で第22回総会を開催しました。

開会にあたり、当協議会の小林会長から、「2023年の自動車盗難認知件数は698件で全国ワースト2位だったが、2024年は前年比+168件の866件で全国ワースト1位となってしまった。ハンドルロックの無料貸出施策等を促進し、官民一体となったオール愛知で、自動車盗難防止活動に取り組みたい。」と挨拶がありました。

続いて愛知県警察を代表して、当協議会顧問でもある守部生活安全部長から、「2024年に引続き、2025年1月単月の自動車盗難認知件数も前年同月比+32件の70件で全国ワースト1位となった。協議会では報奨金制度やハンドルロックの無料貸出施策等を継続推進いただくとともに、県警では協議会と連携した啓発活動に加え、犯罪グループ取り締まり等の抑止対策も推進していきたい。」との挨拶がありました。

その後、2025年度活動計画案等が審議・了承され、当協議会の川杉副会長(日本損害保険協会中部支部委員長)から、「自動車盗難認知件数は全国的に減少傾向にあるが愛知県では前年より増加している。損保協会中部支部を通じてハンドルロックの無料貸出を継続実施し、カーユーザーに能動的な防犯対策を促したい。」と閉会の挨拶がありました。

最後に、愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課地域安全対策室の墨室長から「自動車盗難を含む愛知県の犯罪実態」と題して講演があり、「自動車盗の窃盗団は防犯対策が施されていない駐車場から自動車を盗む傾向があるため、複数の防犯対策が必要である。」等の説明がありました。

当協議会では、引続き愛知県警察等と連携して、自動車盗難防止活動を進めていきます。



小林会長



守部生活安全部長



川杉副会長



墨室長



小林会長・守部生活安全部長